

# ジェネリック医薬品ってどんな薬？

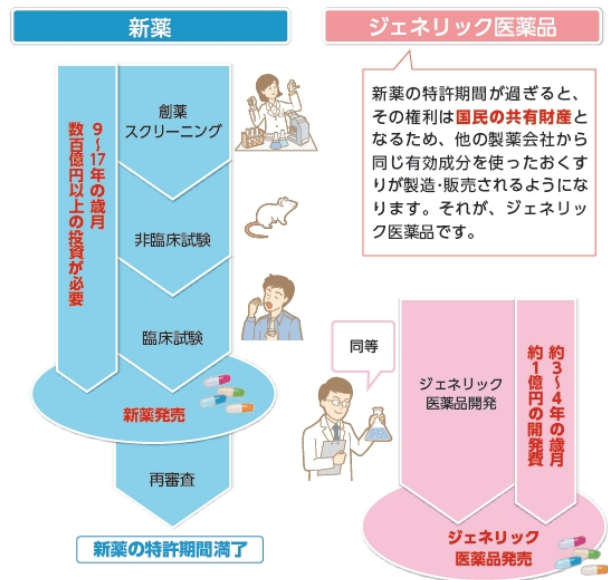
「ジェネリックは品質が悪いから安いのでは？」  
というあなたへ

「ジェネリックに替えても、さほど安くないな…」  
というあなたへ

## ジェネリック医薬品は、新薬(先発医薬品)の特許が切れたあとに、他のメーカーから発売される薬です

新薬(先発医薬品)は長い歳月と数百億円以上の費用をかけて開発されます。そのため、製薬会社は新薬を開発すると、特許を取って発売します。

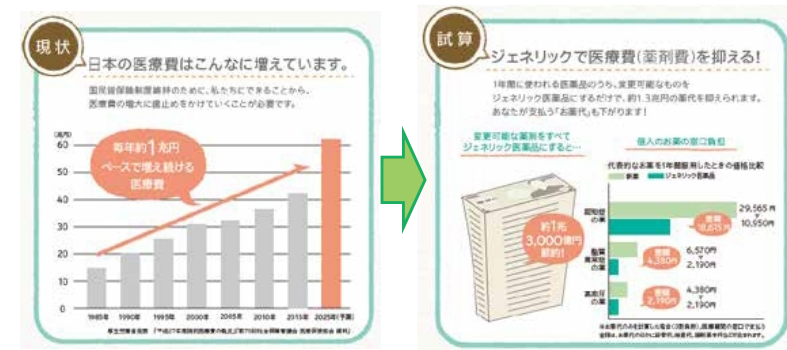
新薬の特許期間が過ぎると、その権利は国民の共有財産になるため、他社が同じ有効成分を使って製造・販売できるようになります。つまり、ジェネリック医薬品は、新薬と比較して研究・開発費が少なく済み、新薬の医療現場での使用実績や情報をもとにして効率よく開発されるため、低価格で提供されているのです。



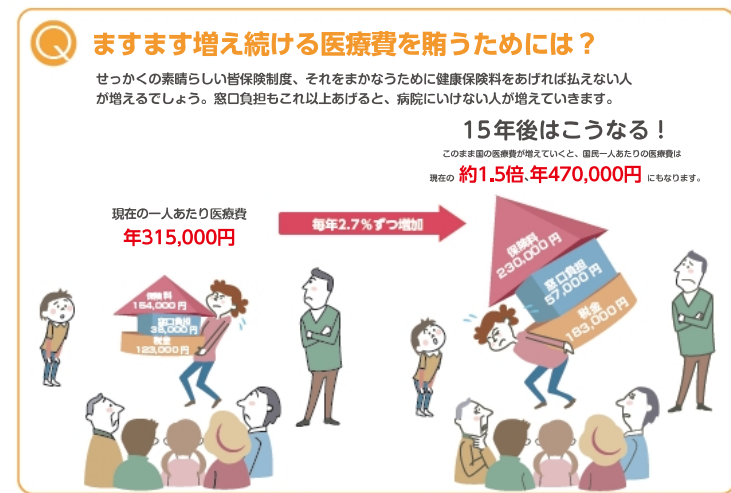
(出典) ジェネリック医薬品ガイドブック「知っ得！ジェネリック」 日本ジェネリック製薬協会 P.2

## 将来の世代に医療費負担を先送りして、もし国民皆保険制度が破たんしたら大変！

ジェネリック医薬品の使用が、医療費の節約に役立つ1つの手段であることから、政府もその普及を推進しています。



(出典) 「なぜ？なに？ジェネリック医薬品」ガイドブック 東和薬品 P.3~P.4



(出典) ジェネリック医薬品ガイドブック「知っ得！ジェネリック」 日本ジェネリック製薬協会 P.7

# ジェネリック医薬品ってどんな薬？

「ジェネリックに替えても、さほど安くないな…」  
というあなたへ

今までどおり、  
将来も医療を安心して  
受けていくために。

現在、  
国民皆保険制度は  
危機に面しています。

高齢化と医療の高度化に伴い、  
医療費が膨らみ続ける日本。  
このままでは医療保険制度  
そのものが維持できません。



保険料や税金などを支える労働人口も減少し、  
制度設計の前提が崩れてしまっています。



そこで  
ジェネリック  
医薬品の普及

が求められて  
います。

きちんと知って、  
みんなで社会貢献  
しましょう！

個人の負担 国の負担 健保組合の負担

ジェネリック医薬品を  
みんなが使えば、  
医療費を減らせます。



ひとりひとりが  
未来のためにできることを。



今、ジェネリック医薬品を選ぶことが  
将来の安心につながります。

世界でも高い充実度を誇る、日本の国民皆保険制度。  
この制度を維持していくには、一人ひとりが医療費を節約しなければなりません。  
「ジェネリック医薬品を選ぶ」ことは、誰もが簡単にできる節約法。  
身近なところでできる社会貢献のひとつなのです。

ジェネリック  
医薬品が  
普及しないと…  
国民皆保険制度の維持は  
さらに厳しく…

今あなたが当たり前  
受けている医療が、  
これまで通り受けられなく  
なる可能性も…

窓口負担が増えたり…  
税金が上がったり…